ソフトテニス競技におけるマナーに関して

山梨県ソフトテニス連盟中学部では、主管する大会のマッチ中の「マナー」について次のように考えています。
（※が、考え方。〇は、その根拠）
つきましては、大会に参加する選手、監督、外部指導者、応援団、保護者など「関係者」の皆様には、このことについてご理解いただき大会運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

＜選手＞

※選手は、「連続したプレー」と「尊重・尊敬」に心がけ、爽やかにプレーする。
※指導者（顧問、外部指導者等）は、常日頃からこのことに留意して選手の指導に当たる。
※プレーヤーは、ソフトテニスコート外の「関係者」からの助言に応えるような態度を示してはならない。
（助言には、「戦術、技術、心構え、アンパイヤーへの質問」等がある。）

＜応援団・観客＞

※第15条は、「プレーヤーの心得」として示されているものだが、当然、プレーヤー以外の関係者（監督、顧問、外部指導者、当該チーム、コート外の応援団等）にも適用される。
※「対戦開始のための整列から、対戦終了の挨拶が終わるまでの間」は、何人もソフトテニスコート外からプレーヤーに対して助言にあたる行為を行ってはならない。
また、2項・3項にいう「監督又はコーチ」であっても、定められた時間帯以外で助言をすることはできない。（厳に慎まなければならない。）。
さらに、そのような行為があってもプレーヤーはそれに応えるような態度を示してはならない。
＊ここでいう助言には、「戦術、技術、心構え、アンパイヤーへの質問」等がある。

〇日本ソフトテニス連盟競技規則第15 条（抜粋；一部省略）

（プレーヤーの心得）
プレーヤーは互いにマナーを尊重し、次の事項を守らなければならない。
(1) 過度のかけ声、又は相手を不快にする発声をしないこと。
(2) マッチの開始から終了まで連続的にプレーし、次の行為をしてはならない。ただし、サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合ポイントの終了から1 分以内に次のポイントを開始する態勢に入るものとする(レッツプレー)
ア. 相手がレシーブの構えをしているのにサービスをせず、又は相手方がサービスをしようとしているのにレシーブの構えをしないこと。
イ. 故意にゲームを長びかせる行為をすること。
ウ. マッチの進行に支障となる状態でパートナー同士の打ち合わせをしたり、又は休息をとったりすること。
エ. ゲーム終了後次のゲームにうつる構えをしないこと。
オ. ファイナルゲームの内のサイドのチェンジの場合に休息すること。
カ. ラケットの修理をすること。
(3) アンパイヤーの指示に従いプレーすること。

〇「ソフトテニスマナーBOOK」(日本ソフトテニス連盟編集・発行;一部省略)

選手(＊の10 ページ)

試合中のマナー

・ルールを正しく理解し、ルールを守り公正な態度でフェアプレーを心がけましょう。

・試合中は、対戦相手とアンパイヤーへの尊敬と感謝の気持ちを持ってプレーしましょう。

＊競技規則第15 条の(2)について、特にア、イ、ウを取り上げています…。

＊競技規則第15 条の(1)について、

〇過度な掛け声や対戦相手のミスに対して相手が不快になるような言葉(「ラッキー」や「もうけ」等)は、相手に向かって発しないようにしよう。

〇対戦相手に向かってガッツポーズをして、威嚇するような行動はしないようにしよう。

・試合が終わったら、お互いを尊重し尊敬の気持ちを持って健闘を讃えあい、しっかりと挨拶・握手をしましょう。

〇日本ソフトテニス連盟競技規則第38 条(抜粋;一部省略)

1. プレーヤーはマッチ中パートナー以外のものから助言及び身体上の手当てを受けてはならない。ただし、正審がレフェリーと協議の上必要と認めた場合を除く。

2. マッチを行うプレーヤー及びアンパイヤーその他特に認められたもの以外は、マッチ中ソフトテニスコートに入ってはならない。ただし、大会要項の中で、プレーヤー以外に「監督又はコーチ(外部指導者を含む。以下同じ。)」がソフトテニスコート内に入ることが、認められた大会においては許容された時間内でプレーヤーに対して「監督またはコーチ」が助言及び身体上の手当てをすることを認める。

3. 大会主催者は助言をする位置を定めることができる。その位置がフェンスの中にある場合は、そのマッチ中助言するものは原則として移動することができない。

・第38条1項は、マッチ中のプレーヤーへ助言できるのはパートナーだけと定めている。
ただし、2項・3項で、ソフトテニスコート内の定められた場所で、関係者(監督又はコーチ)が、定められた時間帯であれば、助言を行ってもよいとしている。(大会要項等で示す必要あり。)

〇「ソフトテニスマナーBOOK」(日本ソフトテニス連盟編集・発行)

観客・応援者(マナーBOOK の5ページ目から抜粋)

試合中の応援マナー「気持ち良いプレーのできる応援を！」

・インプレー中やアンパイヤーのコール時は静かにしましょう。

・応援席から選手へのアドバイスはやめましょう。

・アンパイヤーや対戦相手を攻めるような発言は慎みましょう。

・対戦相手のミスに対しての拍手や、喜びを表す大きな声は慎みましょう。

・好プレーには、敵味方なく、拍手を送りましょう。

・複数での応援は他の観客の迷惑にならないように心がけましょう。